MERGING+ANUBIS FIRMWARE

最新の**Firmware**と**Maintenance mode**は、**Merging**社**Web**サイトの**Anubis Download** セクションにあります。**https://www.merging.com/anubis/download**

使用しているAnubisの FirmwareとMaintenance mode のバージョンを確認するには、Settings > Info を御覧ください。v1.4.0b50888 のような Firmwareのバージョン番号が表示されているはずです。Mergingは Anubis のための新しい Firmware を頻繁にリリースしています。

Firmware のアップデートを行うには、Anubisユーザーマニュアル のファームウェアアップデートのセクションを参照するか、Anubis FIRMWAREアップデート手順 を参照するか、または Merging 社のオンラインドキュメントを参照してください。

※ 注意：Firmware のアップデートには、必ず Google Chrome をご使用ください。

dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061
T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp

ANUBIS FIRMWARE UPDATE HISTORY

Fixed in Firmware version 1.8.0.61318 – Release Date 04.15.2025

- **New. Monitor Mission**
  - EQ と Dynamics が Monitor Mission の Source でサポートされました
  - Source のチャンネルに Solo 機能が装備されました
  - Pyramix 15 ユーザー向けに RAVENNA/AES67 ネットワークモニタリング機能に“Auto Discover Sources” が付加されました
- **New. Music Mission**
  - ファームウェア 1.8.x 以降では、バス（ミックスとキュー）で 12 バンド EQ がサポートされます。
  - 新機能：OSC サポート。Anubis Music Mission で Open Sound Control プロトコルがサポートされるようになりました。これは、MakePro コンソールと同時に行われ、フェーダー、パン、ソロ、ミュートコントロールがサポートされました。
  - Settings> Monitoring に “Link TALK button to Preamps CUT” オプションが追加されました。これにより、トークバックを DAW のチャンネルストリップに挿入し、トークボタンが押された時のみアクティブにすることができます。
    注意：この機能は *Music Mission* とトークバック内蔵マイクにのみ適用されます。
- **New. Venue Mission**
  - 4つのTalk チャンネルをサポート
  - プラグアンドトークですぐに接続できるオートミックスエンジン。32チャンネルのストリームをサポートします。
- **New. Commentary Unit Mission Auto-Dim**サポート
  これによりインターコムや他のプログラムで信号が検出されると、Progam が自動的にDimされます。
  - Settings > Monitoring > Auto-Dim で設定できます。
  - Threshold range をサポート
  - Programs と Intercom のサポート
- Anubis Premiumシリアルは現在Anubis_PXXXXXXとして識別されます。
- **Improvement**：ST2022-7ではプライマリおよびセカンダリインターフェースに同じマルチキャストアドレスを使用できます
- **Improvement**：**Music Mission**：内蔵マイク（Preamp 5）は GPI settings で選択できます
- **Improvement**：**Venue Mission**：TalkbackチャンネルにEQと Dynamics がサポートされました
- **Improvement**：**Monitor Mission**：最大12台のモニターをサポートするようになりました（以前は8）
- **Improvement**：**Monitor Mission**：すべてのパス フィルターがパラメトリック EQ で利用できるようになりました。これにより、没入型モニタリング システムでの混合スピーカー モデルに対する拡張サポートが提供されます
- **Improvement**：Maintenance モードとアップデートの一般的な修正
- **Improvement**：ICMPタイムスタンプ応答を無効にしました（セキュリティ強化）
- **Improvement**：ファームウェアのアップデート中にデバイスの IP が変更された場合、アップデートが完了した後に新しいユニット IP が表示されます。
- **Improvement**：Advanced page に Sink の Enale/Disable 機能が追加されました
- **Improvement**：ファームウェアのアップデートによりIPの更新が遅れる
- NMOS の改善と修正
  - **NMOS**：IS-04/05 バージョンを追加しました
  - **NMOS**：mDNS のレジストリ障害後、Sender/Receiver リストが空になる
  - **NMOS**：NMOS用のMerging web port をユーザーが使用できんあいようにする
  - **NMOS**：Sourceにパッチが適用されるまでReceiverラベルが更新されない
  - **NMOS**：起動時に Device/Node のプロパティが一致しない
  - **NMOS**：レジストリのフェイルオーバー耐性の向上
- LAWO HOME の改善と修正
  - **HOME**：Source/Receiver のパラメーターが正しく動作しない

    - **HOME**：Source パラメータ編集の拡張
    - **HOME**：MAD I/O ルーティングを修正
    - **HOME**：Sink を削除しても Receiver のI/Oは利用可能
    - **HOME**：デバイスのネットワーク情報を改善
    - **HOME**：切断・再接続メカニズムを実装
- **Fixed. Music Mission**：Talk Input に 外部マイクが使用できない
- **Fixed. Monitor Mission**：EQのBypassが 電源をオン/オフしても維持され、設定に保存されます
- **Fixed. Monitor Mission**：再起動時に接続が失われる（Dante初期レポート）
- **Fixed. Monitor Mission**：Web UI でソース/モニターの名前変更が機能しない
- **Fixed. Monitor Mission**：Bass management でのフローエラーメッセージの繰り返しを削除します
- **Fixed. Monitor Mission**： Anubis EtherconモデルでDXD/DSDモードでL-Rチャンネルが反転する
- **Fixed.** Danteコントローラーでデバイスプロパティが適切に更新されました
- **Fixed.** 起動後にDHCPリースが発生した場合、適用されます
- **Fixed.** mDNS 制限がある場合、Unicast Source の作成が失敗する可能性があります。
- **Fixed.** ハンガリーで製造された新しいユニットのシリアル番号による SoundID のサポート
- **Fixed.** Advancedページの Static フィードバックを更新しました
- **Fixed.** Web アクセスの Maintenance ページでは問題なく行えても、TFT のファームウェアのアップロードでは56% でブロックさた
- **Fixed.** Source 名が “/” で終わる場合、ソースは SDP を提供できない
- **Fixed.** Snapshot Store ボタンのタップ領域を拡大
- **Fixed.** キーボードのOKボタンが Reference level を開くことがあった
- **Fixed.** ZMAN：マルチキャストIPフィルタライブラリ。224.x.x.xおよびx.x.x.255のマルチキャスト範囲をサポート

Fixed in Firmware version 1.7.0.59675– Release Date: 21/10/2024

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- 重要：パーティションのサイズ変更手順のため、ファームウェアの更新には時間がかかります。進行状況バーに更新の 2 つのフェーズが表示される場合があるため、ファームウェアの更新が完全に完了して成功するまで中止しないでください。
- Sonarworks Sound ID：
  新しい “Made in Hungary” のシリアル番号を持つユーザーは、Sound ID アプリケーションでシリアル番号の入力を求められたときに、最後の 6 桁を入力してください。
- **New**：Audinate Dante サポート 2024年10月以降生産した Anubus SPS が必要です。
  - “Made in Hungary” のシリアル番号10000*以上のAnubisは Dante Ready™ です。シリアル番号はユニットの最後の6桁で参照されます。
  - Anubis SPS（ProまたはPremium）”Made in Switzerland” のシリアル番号 A61XXXX または A66XXXX はハードウェアの変更が必要です。この作業は、Merging社により有償で行う必要があります。
  - Anubis Dante Ready™ のみがDanteファームウェアを更新できます
  - Anubisの第1世代の Ethercon モデル は Danteサポートのサービスを受けることができません
  - Anubis SPS の Dante Readyハードウェア更新の詳細は、公式声明でまもなく発表されます。
- **New**：MT Toolkit には Dante サポート ファームウェアが含まれています。
- **New**：MT Portal アプリケーションはファームウェアやソフトウェアのアップデートに使用できます。
- **New**：Dante Appendix Manual が用意されました。
- **Improvement**：SAP TLLは1から255までで、ネットワークルータのSAPが通過できるようにします。
- **Improvement**：Rescue Mode が強化されました。
- **interoperability Improvement**：SDP：a=mid attribute をメディアの詳細に移動させました。
- **Improvement**：ZMANのネットワークセキュリティ
- \general\clock settings の signal と Lockボックスの背景色を変更しました。
- ダイナミック ロータリー/フェーダー コントロールがハイライト（制御可能）にならない場合があります。
- **Fixed**：DAWのUSBコネクションはAoIPコネクションを上書きしません。
- **Fixed**：Monitor Mission パッチングセレクションとスクロールが改善しました。
- **Fixed**：Sonarwork Sound ID が新しいシリアルをサポートしました。
- **Fixed**：8文字以上を持った Hapi MKII, Anubus, MT48 に起こったPeerging の問題

Fixed in Firmware version 1.6.3.58708– Release Date: 06.27.2024

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- **Improvement**：将来のホスティングのためにファームウェアのパーティションサイズを変更 PART2
- **Improvement**：**Venue Mission**：新しいTalk セレクション セッティング
- **Improvement**：**Music Mission**：EQバンドのタッチドラッグがWebアクセスで可能
- **Improvement**：ディスカバリーとストリームコネクションの改良
- **Improvement**：ストリームコネクションの信頼性向上
- **Fixed**：**Venue Mission**：リバーブパラメーター保存時の問題
- **Fixed**：Settings > Indo で AnubisハードウェアのRUN番号を正しく表示
- **Fixed**：Dynamixのロータリー/フェーダー コントロールが同時にできない

Fixed in Firmware version 1.6.2b57529– Release Date: 02.20.2024

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- **Improvement**：将来のホスティングのためにファームウェアのパーティションサイズを変更
- **Improvement**：Advanced ページの PTPv2 アナウンス メッセージ間隔を拡げました
- **Improvement**：NMOS: 非オーソライズ DNS の場合にドメイン モードが解決されない
- **Fixed**：再起動/再起動時のストリームの切断

- **Fixed**:**Merging Deesser** がトークバックマイクにもかけられる
- **Fixed**:**EQ bands** ボトムのエンコーダーをスワイプすると変更できる
- **Fixed**:**SoundID** :プロファイルが最近作成された場合の LFE チャンネルのインポートの問題
- **Fixed**:**GPIO** のパラメーターが Remote Application で見えない
- **Fixed**:Preset のリロードでクラッシュすることがある
- **Fixed**:ZMAN カスタマイズ: Advanced ページにメーカーのロゴを表示
- **Fixed**:NMOSによる再接続時の信頼性が向上
- **Fixed**:**ZMAN** デバイスの公開タイミングの問題

Fixed in Firmware version 1.5.7b55838– Release Date: 12.04.2023

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- **Improvement**:LEDカラーのブライトネス調整
- **Improvement**:ファームウェアアップデートのレトロ互換性調整
- **Improvement**:LAWO HOME 信頼性向上
- **Improvement**:Productionツールセット
- **Fixed**:Session Sync で32 streamまでの制限が64streamまでに戻った
- **Fixed**:Reverb ON ボタン追加
- **Fixed**:リモート コントロールの複数のインスタンスを起動できるようになりました
- **Fixed**:不完全な接続でのオーバーフローに対する MDNS 保護
- **Fixed**:Home PreAmpsリコール
- **Fixed**:RAVENNA/AES67 Discovery タイミングの問題

Fixed in Firmware version 1.5.6b56511– Release Date: 10.23.2023

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- **New.** Venue Mission サポート(keyが必要)
- **New.** EQ: All-Pass filter が Monitor パッチに加わりました
- **New.** EQ バンドを選択し、TFT 上およびリモート アプリから周波数パラメータを直接移動できる機能が追加されました。
- **New.** Peering したモジュールの番号が増えます
- **Improvement.** Virtual Keyboard の */= と ./, の位置が入れ替わりました
- **Fixed.** Discovery の問題
- **Fixed. Monitor Mission.** PreAmp の Remote Control の Gain が固まる
- **Fixed. Monitor Mission.** マウス ホイールをWebリモート上で動かすと選択したモニターのボリュームが変化します
- **Fixed.** SoundID 5.1.2 プロファイルが 5.1.2 スピーカーセットに使用できない問題
  Note: *5.1.2 speaker set* を一度消去し、再度作成してください
- **Fixed.** Channel Mapping Ltf, Rtf, Ltr, Rtr を Ltm と Rtm へミックスダウンできます
- **Fixed.** Anubis リモート ウィンドウの位置は 最小化してマウスを動かすとリセットされます
- **Fixed. GPIO** Talk Latch の動作の問題
- **Fixed. Commentary Unit:** Sidetone と Program が monitor bus にルーティングされていない問題
- **Fixed. Commentary Unit:** Dynamics のパラメーターが選択できない問題
- **Fixed.** Talkback をオンにすると EQとDynamics が遅れる問題

Firmware version 1.5.1b55809– Release Date: 18.07.2023

***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**

- **New.** LAWO HOME サポート
- **New.** Monitor Mission見直し
- **New.** Monitor Mission Webアクセス見直し
- **New.** Music Mission メーターの調整レンジに合わせたモニターレベルの設定
- **New.** Music Mission EQとDynamicsをDAWチャンネルに追加

- **New.** Music Mission ReverbとDynamicsのリターンチャンネルにEQバスを追加
- **New.** Base Management: 新しいフィルタータイプ Linkwitz-Riley support (12dB and 24dB per Octave support)を追加
- **New.** Settings> Monitor Level に5.1ソースを7.1にマップした場合のオプションを追加
- **Improvement**:**Monitor Mission Web**アクセス Remote PreAmpページ
- **Improvement**:**DXD/DSD**メーター**UI**の精度
- **Improvement**:EQとDynamicsページを開く時の速さ向上
- **Improvement**:NMOSの安定性
- **Improvement**:MonitorとSourceのチャンネルタイプに、最も使用されているものが一番上に表示されます
- **Improvement**:Meter Settings セクションを追加し、Hot (DXD/DSD) 設定を追加
- **Improvement**:Remote Control でマウスのホイールをサポート
- **Improvement**:エフェクトのEnableと設定終了の反応が速くなった
- **Change**:**Monitor Mission** LFEブーストがデフォルトでEnableになった
- **Change**:**Monitor Mission** デフォルトのベースマネージメントのフィルタータイプがEQ-X から Linkwitz-Riley に変更され、新たに作成されたMonitorに適用されます
- **Fixed**:Mission変更時に起こるクラッシュやスローダウン
- **Fixed**:**Monitor Mission:**MonitorをDisableにしたときにRemote Controlに赤いアイコンが表示されない
- **Fixed**:**Music Mission Web App:**Groupが折りたたまれている時にロータリーセンドがアップデートされない
- **Fixed**:**Remote Control app:**Anubisを再起動させると混乱する
- **Fixed**:**Anubis Web Access:** エフェクトメーターにノイズが起こる
- **Fixed**:Settingsを抜ける時にクラッシュする
- **Fixed**:Settingsで速くスクロールするとクラッシュする
- **Fixed**:Settingsでバックページのエントリ行が常に適切なサイズではなく、機能しない
- **Fixed**:NMOSポートの変更可能
- **Fixed**:PeeringメニューにLoopback Moduleが表示される
- **Fixed**:一部のSettingsメニューオプションのテキストが切り詰められている

Firmware version 1.4.11b55480– Release Date: 06.06.2023

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- **Improvement**:Anubis Home Page のデザイン変更
- **Improvement**:Monitor Trim のレンジが -36dB から +12dB に広がりました。
- **Improvement**:アップデート手順終了（再起動）までのファームウェアアップデートの信頼性
- **Improvement**:Sony AR360 モニターレイアウト サポート
- **Improvement**:Music Mission で右のツールバーのタッチ幅を広げました。
- **Improvement**:**Music Mission.** Dynamics のインターリアクション向上
- **Improvement**:**Music Mission.** Dynamics の Limiter の Release を 11ms からに変更
- **Improvement**:**Music Mission.** ステータスバーのアイコンの改善
- **Improvement**:**Music Mission.** EQインジケータ EQがONの時にのみカラーになる
- **New. Music Mission**:Settings>Monitor>Patchで出力を増やす場合に使用できる”Add”を加えました。
- **New**. メインボードとUIボードの新しいAnubisに公式ファームウェアで対応。
- **Fixed**:Dolby X.1.2セットアップでのTopスピーカーのパッチの修正
- **Fixed**:2番目にPeerしたADモジュールPreAmpのピアリングを修正
- **Fixed**:Remote App で Peering が見えない
- **Fixed**:EQ UI :バンドを変えるとコントロールしているパラメーターが見えくなる
- **Fixed**:スピーカーを Cue にセットすると 全ての Source が白くなる
- **Fixed**:稀にネットワークが初期化されない（Anubis Ethercon）
- **Fixed**:**GPI:** 複数の Action が設定されていると、最後のもののみが動作する

- **Fixed**：リモートコントロールから Home ページを見るとCPUが数秒間オーバーロードする
- **Fixed**：Remote App から ネットワーク IP を設定できるようになりました
- **Fixed**：Webアクセスと実際のLCDで Mix Busのレベルが異なる
- **Fixed**：NMOS インスタビリティ
- **Fixed**：Lowバッファサイズ時（16 samples）遅延が多くなる
- **Fixed**：Snapshotを上書きすると色が無くなる
- **Fixed**：Reverb のスナップショットをリコールしてもボタンのステータスをアップデートしない
- **Fixed**：IPをマニュアルに変更してApplyしないとクラッシュする
- **Fixed**：Web App の PreAAmp レイアウトとグルーピングを改善
- **Fixed**：**Music Mission.** モニタリングボリュームのレベルがTFT上で-144dBまで下がらない
- **Fixed**：Access Control Lock を外すと新しくLockされたエントリーが2つ増える
- **Fixed**：ディストーションを避けるため、Dynamics Gate セクションの最小リリースタイムが12msになりました
- **Fixed**：RemoteとWebアクセスでのロータリーボリュームは、上下となりました
- **Fixed**：設定画面の下部にシャドウを追加し、下スクロールでの表示に統一感を持たせました
- **Fixed**：Bus Dynamics のWebアクセスにメーターがない
- **Fixed**：サチュレーションを避けるため Dymamics Gate の最小リリースタイムは 12ms となりました
- **Fixed**：特定のスナップショットをリコールするためのGPIO Triggerが加えられました
- **Fixed**：EQに戻った場合に以前選択されていたバンドが選択されます
- **Fixed**：**Dynamics** Reset と Sidechain ボタンは 動作状況が正しく再現されます
- **Fixed**：長い名前のStripをリモートするとクラッシュする
- **Fixed**：コネクションすると Bus Routing UI がフラッシュします
- **Fixed**：Effects 画面で Peak Reset が動作しない
- **Fixed**：Settings/Home ページから戻るとスクロールした位置に戻らない
- **Fixed**：リターンのチャンネル（Reverb, Dynamics）の Solo するとタイムアウトが発生する
- **Fixed**：PreAmpのゲインステップ（0.5dB）がデバイスとリモートで異なる
- **Fixed**：Bus EQ でフォーカスしていたバンドを覚えていない
- **Fixed**：DynamicsがOFFの場合、Dynamicsのメーターが表示されない
- **Fixed**：Dynamicsのあるパラメーターの動きが鈍い
- **Fixed**：Identify Me ダイアログが閉じない
- **Fixed**：EQのリモートコントロールがWeb Accessと競合する
- **Fixed**：2分毎の Auto-Save が改善されました
- **Fixed**：Anubisのリネームを行うとリモートコントロールができない
- **Fixed**：Snapshot をリコールするとPreAmpのパラメーターが変え辛くなる
- **Fixed**：ZMANの起動の問題
- **Fixed**：Monitor Mission チャンネルネームをDolbyチャンネル名に変更する
- **Fixed**：2.1時に出力ルーティングが崩れる
- **Fixed**：再起動後にスピーカー用EQが無くなる
- **Fixed**：DeesserボタンUIのサイズ調整
- **Fixed**：DXD/DSDメータースケールの Hot Range の精度
- **Fixed**：大きなプリセットでタイムアウトが発生し、ボタン選択が戻されることがある
- **Fixed**：Dynamics Sidechain ボタンがアクティブ時にもハイライトしない
- **Fixed**：Bus Dynamics LED が Enable の時、Mix ボタンの外に表示される
- **Fixed**：20.2タイプのマルチチャンネルをあるPresetに加えるとクラッシュする
- **Fixed**：**Monitor Mission:** LFEチャンネルがメーターページより高いレベルになる

Tech notes:

ファームウェアのアップデートに12分以上かかる場合があります。アップデートは途中で止めないで（abort しないで）ください。

Firmware version 1.4.6b53396– Release Date: 20.10.2022

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

最新のファームウェアは、以前のものと比べ大きくなっており、更新に時間がかかります（12分以上）。アップデート中に中断しないようにしてください。

New. Monitor Mission：より多くのEQバンドが利用可能になりました。最大336バンドをサポート（従来は84バンド）します。

- **New. Monitor Mission**：1つのEQで最大24バンドまで対応
- **New. Monitor Mission**：ソース設定チャンネルのタイピング順のカスタマイズ（ソース、ソースリスナー）
- **New.** 特定のAoIPソースのみを表示するワイルドカードフィルタリング機能
- **New.** Sonarworks SoundID Multichannelサポート
    - Room Correctionサポート（モニターレイアウトは 9.1.6 Atmos まで）
    - 必要条件
        - SoundID Multichannelライセンスが必須、オンラインショップ参照
        - NEMANを1.5.2以上またはMADを2.2.2にアップデートしてください。
        - 最新のSonarworks SoundID Referenceアプリケーションv5.5.0以上をインストールしてください。
        - マルチチャンネル サポートはMonitor Missionでのみ使用できます。
    - Note 1：SoundIDマルチチャンネルの最近の変更は、処理遅延に影響します（より短くなりました）。これはStereo SoundIDにも影響を及ぼします。
    - Note 2：ソースにLFEチャンネルがあり、ステレオモニターで利用可能な場合、モニターに適用されるSoundID補正はLFEチャンネルを含む必要があります。
    - Note 3：Anubisでは、Sonarworks SoundID Reference試用版で生成したSoundIDマルチチャンネルプリセットをインポートすることができません。
- **New.** Sonarworks SoundID が 352.8kHz(DXD)と384kHzに対応
- **New.** Merging+DeesserプラグインをMusic Missionに対応。このプラグインは有償オプションです。詳細は *Merging Online Store* で確認してください。
- **New.** Eventide Blackhole プラグイン（Music Mission用）。このプラグインは有償オプションです。詳細は *Merging Online Store* で確認してください。
- **New. Music Mission**：Mission SnapshotsとEffectsのImportとExport Snapshotをサポートしました。
- **New. Music Mission**：Muteボタン長押しで全出力をミュートします（Reverb, Parallel Dynamics, Sendsを除く）。
- **New. Commentary Unit**：On-Airボタンのデュアル A/Bモード。
- **Change**：日付の変更には Anubis の再起動が必要になりました。
- **Improvement**：Settings のUIが 黒い背景となり、新しいポップアップダイアログを追加しました。
- **Improvement**：**Monitor Mission**：より多くの Sound ID プロファイルを有効にして、EQを追加することができます。
- **Improvement**：PTPロックとMuteの信頼性向上。
- **Improvement**：タッチパネルディスプレイの位置合わせ
- **Improvement**：最大64ストリームに対応（従来は32ストリーム）。
- **Improvement**：**Music Mission**：Mixerの接続されていないDAWやAUXはグレーアウトされます
- **Improvement**：ファン速度の傾きとファンスピードの微調整
- **Improvement**：PTPスレーブ性能
- **Improvement**：リバーブレイテンシー調整
- **Improvement**：NMOS Nevion サポート
- **Improvement**：EQバンドセレクターの改良。ゲインロータリー長押しでリセットできるようになりました。
- **Improvement**：Peering の信頼性、タイムアウトフリー

- **Fixed**:**Commentary Unit**:Monitor/Sidetoneロータリーのリネーム設定追加(TFT/WebApp)。
- **Fixed**:**Commentary Unit**:talk_lock 設定の削除(talk_enabled 設定と重複)。
- **Fixed**:**Commentary Unit**:パンニング問題の修正
- **Fixed**:DSDフォーマットで使用した場合の PreAmp 入力ノイズ
- **Fixed**:不正なSAPパケットを受信する不具合
- **Fixed**:ST2022-7 モードで SAP シングルワイヤーソースを使用した場合、ストリームのリッスンオンが正しく行われない。
- **Fixed**:nameにスペースが含まれる場合のSDP DUP不具合 (RAV-1643)
- **Fixed**:Anubis Remote Controlの日付と時刻の競合。Remote アプリはシステムの日付と時刻を適用することしかできません。本体の Seettings > General で特定の日付と時刻を設定してください。
- **Fixed**:**Monitor Mission**: Speakerset 変更時のトリムオフセットが正確でない。
- **Fixed**:**Monitor Mission**:リソースが十分あるにも関わらず、Speakersetを作成すると一部のMonitorが無効になってしまう。
- **Fixed**:**Monitor Mission**:bass management 設定変更時のオーディオアーチファクト
- **Fixed**:**Monitor Mission**:bass management を有効にすると、output polarity が消滅する
  既知の制限事項:*DSD*ソース視聴時、*Speakers Polarity* が無効になります。
- **Fixed**:**Music Mission**: Bus routing/Snapshots/Effect presets の開閉時にタイトルバーが一致しないことがある。
- **Fixed**:**Music Mission**: Peeringに遷移した後、MIXページやBus Routingがスクロールできない。
- **Fixed**:**Music Mission**: CUE が MIX+ALT モードであることをより分かりやすく表示(タスクバー上)
- **Fixed**:**Music Mission**: 再起動後もLoaded Snapshotが表示される。
- **Fixed**:**Music Mission**: Dynamics Reset Peakでリダクションメーターの値もリセットされてしまう。
- **Fixed**:**Music Mission**: 切断されたストリップのミュートを解除することができない
- **Fixed**:**Music Mission**: ピアリングされた ADAT/AES にリモートプリアンプが存在してはならない。
- **Fixed**:ピアリングやデバイス名の変更時に、Anubis の動作が遅くなることがあった。
- **Fixed**:Peering:デバイスを再起動すると、IO Router の接続と IO サウンドが失われる。
- **Fixed**:リモートコントロールのタイムアウト(toolkit の Remote Control のインストールが必要)
- **Fixed**:Remote App, Web アクセス, TFT mission の競合が発生する場合がある。
- **Fixed**:Anubis の SPS 以外を誤って認識する
- **Fixed**:Anubisがオフラインになると、Remote App がタイムアウトする。

Firmware version 1.4.1b51641 – Release Date 29.04.2022

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

最新のファームウェアは、以前のものと比べ大きくなっており、更新に時間がかかります(12分以上)。アップデート中に中断しないようにしてください。

- New:Commentary Unit Mission(有償機能)が追加されました。
  https://www.merging.com/products/interfaces/merging+anubis#commentary-slider
- Improvement:Settings からの離脱スピードが上がりました。
- Improvement:Music Mission で Webアクセス Effect チャンネルナビゲーション<>が加わりました。
- Improvement:アドレスと Gateway を同じサブネットに設定できるようになりました。
- Improvement:Monitor Mission で 隠れたSourceがMuteになります。
- Improvement:Monitor Mission で Delay の値が正確になりました。
  警告:現在の *Delay* 値は、このファームウェアにアップデートすることでオフセットが解消されて正確に表示されます。
  回避方法:ルームメジャーの測定時の*Fs*を基準に調整してください。これは、遅延が *0* でないチャンネルにのみ適用されます。
  - *1FS (44.1/48kHz):* 現在のディレイ値に*1.4ms*を加算します。
  - *2FS (88.2/96kHz):* 現在の*Delay*値に*1ms*を加算
  - *4FS (176.4/192kHz):* 現在の*Delay*値に*0.8ms*を加算します。
  - *8FS (352.8/384khz/DSD)*。現在の*Delay*値に*0.7ms*を加算します。
- Fixed:Dante SAP Source をディスカバーしません。

- Fixed：Sonarworks SoundID import が動作しない。
- Fixed：Speaker Setが一つの時でかつ44.1kHz時にLoadエラーが起こる。
- Fixed：内蔵マイクと Input 4：使用できないチャンネルがあると混乱するため、ジャックが接続されている場合は内蔵マイク用プリアンプの表示が使用できなくなります。
- Fixed：Monitor Mission：PresetをLoadする際に起こる可能性のあるエラー。
- Fixed：Monitor Mission：Delay 調整のリコールの問題。
- Fixed：Web App：ヘッドフォンまたはSpeaker SetのSourceを選択するとAppがフリーズする。
- Fixed：Remote Cpntrol App：Dimの色が違い、Muteを表示している。
- Fixed：Mixメニューが他のメニューに重なって表示される。
- Fixed：Music Mission：SnapshotをロードするとAnubisがクラッシュする。
- Fixed：Music Mission：電源投入時にMuteの状態が正しくリコールされない。
- Fixed：Music Mission：Bus ReverbとBus Dynamicsの レコードバック が可能になりました。
- Fixed：Music Mission：SnapshotのStoreに色が保存されない（WebApp）。
- Fixed：Music Mission：Web App Settings の ref/dim レベルが TFT Settings ページでコンフリクトしている。
- Fixed：Web Access IP がMissionの変更時にキャッシュに留まっている。*Note*：*Chrome*を最新にアップデートしてください。
- Fixed：RAVENNA の Input Mute の問題。
- Fixed：AdvancedページでMulti Interfaceモード時に全てのインターフェースがLink Upをレポートする。
- Change：Pre Amp の物理チャンネル名が修正されました。
- Music Mission：Post Effect サポート
  Music Missionでは Post-FX を録音することができます。これにはEQとDynamicsプラグインが含まれます。Physical Input Direct信号（Pre-Effects）とPost-FX信号を独立または同時に録音することが可能です。Peered Inputsにも対応しています。ANEMANで Post_FX チャンネルを接続することができます。
  Unite での Post-FX のサポートは、次の VAD と MAD のバージョンで予定されています。
  Note：*Reverb, Parallel Dynamics, Send* は *Strip* 信号の *Effect* 経路には含まれません。これらを録音するためには、バスリターンを録音してください。

既知の問題

- Bus Routing：CueとSendsをスクロールしていると、一時的にロックされる。
  回避方法：*Bus Routing* ページから *Settings* を開き、*Scroll* を *Unlock* してください。
- Remote Control app：一時的にオフラインになったり、アップデートされなくなったりする。
- Remote Control app：General Settings の Date/Time を合わせられない。
  回避方法：*Anubis*で行ってください。
- Post FX チャンネルが ANEMANのみに表示される（次の VAD 3.2.1と MAD 2.2 では Unite をサポートします）。
- Monitor Mission：Sub の Solo は Monitor Settings Options で行わなければならない。
- Peering：Music Missionでは、チャンネルのグレイ表示が素早く表示されるが、音は残っている。
- Music Mission：最初のエフェクト（EQ, Dynamics）を有効にすると、小さなクリックが出る。

Firmware_1.4.0_50888 - Release Date: 25.02.2025

重要：**MERGING+ANUBIS**リモートコントロールアプリケーションを機能させるために

MERGING+ANUBISのファームウェアを同じビルドバージョンに更新することが必須です。

リモートは、MAD（Windows）、VAD（Mac）、ANEMAN、MTDiscoveryのいずれかがインストールされているシステムと同じシステムにインストールされている必要があります。

Anubisメンテナンスページ（MAD、VAD、ANEMAN、MTDiscovery）からファームウェアをアップデートすることをお勧めします。ファームウェアのアップデートには、Google Chromeを使用してください。

Fixed in Firmware version 1.4.0b50888 – Release Date 24.02.2022
***Important: ANEMAN 1.2.2*以上が必要です。**
ファームウェアはサイズが大きく、更新に時間がかかります。

- New. "identify me" mode to located a device over a network
- New. Firmware support for the latest Anubis board revision.
- Improvement. Access Control: security protection on parameters ▪ Improvement. Monitor Mission: Hold option for volume level and reference lock
- Improvement. Monitor Mission: new setting to hide displayed Sources for a given Monitor
- Improvement. Monitor Mission: Bass management time alignment for accurate monitoring
- Improvement. Music Mission. Dynamics now supporting Sidechain and Auto-Gain
- Improvement. Music Mission. SoundID now supported on CUES ▪ Improvement. New manual Anubis Ex-Factory reset procedure
- Fixed. Monitor Mission: Graphic MON>CUE deactivation incoherency
- Fixed. Monitor Mission: MON>CUE disabled options still allowing the injection
- Fixed. Monitor Mission: Source page Sources order not reflected in the settings
- Fixed. Monitor Mission: Speakers Delays not kept at Anubis restart
- Fixed. Monitor Mission: Assert when loading a configuration with too many channel
- Fixed. Music Mission: Pressing Home button will close any open dialogs
- Fixed. Music Mission: Rotaries did not always get deselected when selecting a monitor set
- Fixed. Web Access can display multiple talks in the preamps page
- Fixed. Anubis: MIDI pre potential crash under ProTools
- Fixed. Firmware update from Mac Safari takes forever to upload firmware
- Fixed. Firmware update from Safari preliminary support, Chrome still recommended
- Fixed. MIDI icon no longer displayed in status bar when back button is visible
- Fixed. Peering page displays MIDI channel numbering issue
- Fixed. Peering improvements and reliability
- Fixed. Peering UI: Message displayed when all peering slots are already used
- Fixed. Special characters used in Anubis could prevent proper launch.
- Fixed. Advanced Pages, Sink delay value no longer fixed
- Fixed. Remote Control App, the rotary from touchpad does not work
- Fixed. Various SAP and SDP fixes
- Fixed. AES67 left over streams can crash Anubis at startup
- Fixed. Virtual Keyboard potential assert or duplication

Fixed in Firmware version 1.2.6.49236– Release Date: 12.10.2021

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- Improvement.　Bus Routing SnapshotエントリにMusic Mission SoundIDのリコールが追加されました。

- Fixed.　2.2 セットアップ時の Monitoring Mission の問題
- Fixed.　プロファイルがインポートされていない場合、Monitoring Mission SoundID Referenceボタンが削除される。
- Fixed.　Monitor Missionのマルチチャンネルのトップスピーカーのコントロールが SoundIDボタンに隠れてしまう。
- Fixed.　Monitoring Mission チャンネルソロの実装とサブチャンネルソロの
- Fixed.　モニタリング Mission サブチャンネルのトリム
- Fixed.　Monitoring Mission スピーカーセットにディレイをかけると音が出ない。
- Fixed.　Monitoring MissionでSpeakerモード変更時にローレベルEQが効かない問題
- Fixed.　Music Mission Web AccessのMixボタンが押せない
- Fixed.　サンプリングレート変更時にMusic MissionのSoundID関連のEQが更新されない問題
- Fixed.　Music Mission SoundIDのプロファイルを削除すると、TFTから正しく削除される。
- Fixed.　Music Mission RoutingにおけるSoundIDの順序付けの問題。
- Fixed.　Music Mission Snapshot Bus Routingのリコールで、SoundIDプロファイルの状態が保持されるようになりました。
- Fixed.　Music Mission UI リモートウェブアクセスのUIの修正
- Fixed.　Music Mission Snapshotのリロードで、リモートアクセスがクラッシュすることがある。
- Fixed.　Music Mission Dynamics BusのDAWへの復帰がミュート状態になる

Fixed in Firmware version 1.2.5.49031– Release Date: 28.09.2021

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- New　Sonarworks SoundID Reference サポート, ヘッドフォン, ルームコレクション
- Improvement.　ロータリーエンコーダーがパフォーマンスに若干の遅れが生じることがある
- Improvement.　Monitor Mission ベースマネージメントのUIレイアウト変更とオプション追加
- Improvement.　Monitor Mission チャンネルとパッチポイントのEQ
- Improvement.　Monitor Mission EQのリンク/バイパス機能
- Improvement.　Monitor Mission フィルタリングのステータスアイコン
- Improvement.　Music Mission スナップショットの選択的呼び出し
- Improvement.　Music Mission Bus Routingレイアウトの変更
- Improvement.　Music Mission SetUpページでグループの表示が縮小される
- Improvement.　Web Access リモート PreAmps フェーダー・スケーリング UI
- Improvement.　AnubisのTFTにSOLOまたはMUTEを表示する設定を追加
- Improvement.　ファンの加速スロープ
- Fixed.　Cueのリバーブの EQがループになりフィードバックを起こす可能性がある
- Fixed.　Anubis SPSの2つのポートが接続/切断後にBonjourをアドバタイズしなくなる
- Fixed.　RJ45の切断/接続後にデバイスが自分自身をアドバタイズする問題
- Fixed.　PTPドメインが変更された場合、ASIOのクロックが更新されない

Fixed in Firmware version 1.2.4.48118– Release Date: 02.07.2021

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- Improvement.　リモートコントロールの信頼性
- Improvement.　ピアリングの信頼性
- Improvement.　ピアリングでのMIDI Pre Channelsの表示
- Improvement.　同じ出力モジュールが既にピアリングされていた場合、最後のピアリングされた出力が引き継がれる
- Improvement.　Music Missionにライブ ミキシング用の新しい設定
- Fixed.　ピアしたモジュールがオフラインになる
- Fixed.　Sinkで大きすぎるUnicastのポート番号が与えられる
- Fixed.　Monitor Mission で、30.2を超えるモニターチャンネルを設定するとフリーズする
- Fixed.　TalkbackのADのピークメーターが不正確

- Fixed.　Cueチャンネル セットが Speaker Panel に表示される

Fixed in Firmware version 1.2.2.47903– Release Date: 08.06.2021

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- Improvement.　Peer と Unite の信頼性を向上しました。
- Improvement　Anubisは固有の名前を出します。
- Improvement　性能向上のためのメーター調整のリフレッシュ率
- Improvement　Music Mission Dynamicモジュールで、最初、コンプレッサーのみONになる
- Improvement　Music Mission Web AccessがEQとReverbのリモートコントロールに対応しました。 注：Dynamicsのリモートコントロールはまだ開発中です。
- Fixed　Peering：入力のモジュールがAnubisミキサーで重複して表示されることがある。
- Fixed　Music Mission Parallel Dynamicsのルーティングが間違っていて、漏れてしまう。
- Fixed　Monitor Mission ベースマネージメントの問題
- Fixed　Monitor Mission DXD/DSDヘッドフォンモニターのパスが壊れている
- Fixed　スピーカーセットがない状態でWebアクセスからMon to Cueを実行するとMon Missionがハングアップする。

Fixed in Firmware version 1.2.2.47673- Release Date: 20.05.20

Important: ANEMAN 1.2.2以上が必要です。

- NEW　Music Mission初の公式リリースファームウェア
- Improvement　プリセットとスナップショットのネーミング
    - **.mumi** の拡張子のファイルは Music Mission のスナップショット
    - **.momi** の拡張子のファイルは Monitor Mission のプリセット

Note：Monitor Mission プリセットを読み込むためには、ファイル拡張子のダイアログで **.momi** のフィルタリングを外して、**.bin** の拡張子のファイルを読み込むようにしてください。

- Improvement　全ミッションに GPI グローバル ミュート アクションを追加
- Fixed　Bass Gateway の設定で、空のエントリーをチェックしない
- Fixed　Anubisのバーチャル MIDIポートのロードに失敗する。PreAmpsのリモートとMIDI Dinの問題を解決しました
- Fixed　ST2022-7のストリームの状態が間違っている（短時間の間）
- Fixed　NMOS IS-05受信機をパッチする際のNULL値起動時間を修正

Firmware version 1.1.14b46699 - Release Date: 25.02.2021

重要：**ANEMAN 1.2.2 以降が必要です。**

- Fixed　ベースマネージメントのEQが適用されない。
- Fixed　ベースマネージメントのツーティングの問題。
- Fixed　LFEブーストが常に Disable / applied とならない問題。
- Fixed　RAVENNAソースがランダムに再起動するまで高周波ノイズを出す。
- Fixed　PreAmp Boost パラメーターが Combo 1 でONの場合、内蔵トークバック入力の信号をカットする。
- Fixed　8chと2chのストリームをミックスするとRAVENNAにノイズが乗る。

Firmware version 1.1.12b45672 – Release Date: 19.11.2020
重要：**ANEMAN 1.2.2 以降が必要です。**

- New　GPIO “Momentary” モード（各動作でパルスを発生させるモード）が追加されました。
- New　18個の Preset をサポート（以前は5個まで）
- New　Advanced Page の Sinks に “Relax Check” オプションが追加されました。

- Fixed　Anubis が MTDiscovery や ANEMANで表示されない。
- Fixed　メモリー リークによるクラッシュ
- Fixed　Bass Management: LFE Boost は LFE チャンネルのみに影響します。
- Fixed　GPIO と MIDI の選択の問題
- Fixed　メモリーリークによる問題
- Fixed　GPOが Speakerset をトリガーしない。
- Fixed　EQを使用すると Bass Management をコンフリクトさせる問題
- Fixed　Dual PreAmpで、聞こえないノイズが出る問題
- Fixed　EQカーブをペーストすると Bass Management のハイパスカーブを消去する問題
- Fixed　Monitor EQ をフラットにすると Bass Management の周波数を消去する問題
- Fixed　Mono ダウンミックス が x.2 フォーマットのサブウーファーにも影響します。
- Fixed　ランダムな Anubis SPS のディスカバリーの問題
- Fixed　AoIP リスナー のパラメーターは、ルーティングを変更しない限り保存されます。

ChangeCooling Mode のデフォルトは MID になりました。

Firmware version 1.1.8b44345 – Release Date: 30.07.2020

- New　Anubis SPSとST 2022-7のサポート
- New　NMOS（IS-04およびIS-05）のサポート。NMOSの詳細については、ここを御覧ください。
- New　モニター用EQ
- New　Anubis Settings がWebアクセスから利用可能になりました。
- New　Source と Monitor の順序が Settings ページで変更できるようになりました。
- New　Maintenance Mode が ファームウェア アップデートに組み込まれ、メンテナンスモードの更新が必要がなくなりました。
- New　Anubisバーチャルキーボードが追加されました（Anubis TFTからSource, Monitor, Presetの名前変更に使用）。詳細は、最新のユーザーマニュアルを参照してください。
- New　Speakler Set のサポート：9.1-7.1.6-9.1.2-9.1.2-9.1.4-9.1.6 など。ステレオ2.2、カスタム5.2、カスタム7.2.4
- New　Source および Stream Listner に3chセットタイプが追加されました。
    - 8つの Center チャネル：CCCCCCCC
    - 4つの Stereo：LRLRLRLR
    - 2つの Center チャネル：CC（8チャネルに固定されているStream Listnerでは使用不可）
- New　SSM：source-filter SDPアトリビュートの使用/提供。
- New　Anubis missions ホスティングとホームページの変更。
- 改善　Advanced ページ（Web）に Upload / Download が追加されました。
- 改善　ユーザーの設定したサブネットマスクの検証。
- Fixed　すべての接続を削除すると、PreAmps ページが一瞬空白になる。
- Fixed　Settings> Monitor Trim（main）の正の値が制限を超える。
- Fixed　Base Management で Speaker Set が変更される。- LFE フェードイン/アウトがよりきれいになりました。
- Fixed　Split Channel のゲインが固定される場合があった。
- Fixed　Settings > Trigger で MIDI を有効にし、両方の Talk ボタンをAuto-Latchに設定するとCPU使用率が高くなる。
- Fixed　Speaker Set を削除すると、Monitoringエンジンがクラッシュする可能性。
- Fixed　PTPマスター/スレーブのステータスがTFTで正しく表示されない（Settingsとステータスバー）。
- Fixed　IP設定を変更した場合、Webアクセスに古い値が表示される。
- Fixed　潜在的なハングを引き起こすNMOSの問題。
- Fixed　ミキサーの透明性の問題。
- Fixed　Combo 1入力で稀にサンプルクリックが起こる
- Fixed　トランクファームウェアを以前のエンジニアリング変更にダウングレードする可能性。

Engineerging Change：Base Managementが12dBスロープに制限されました。詳細はマニュアルを参照してください。

dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061
T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp

Firmware version 1.0.20b43451 *(Based on Maintenance Mode 16)*

警告:新しいファームウェアを更新すると、出力チャネル ディレイ値を再設定する必要があります。

- Fixed　Cチャンネルの無いLFEを含むSpeaker Setで、モノミックスダウンを実行するとクラッシュ/フリーズ(例:2.1)。
- Fixed　ドットのあるSpeaker Setでトリガーアクションを使用した場合、クラッシュ/フリーズ(例:5.1.4)。
- Fixed　最後のモニターを削除するとクラッシュ。
- Fixed　LFEの不整合。Speaker Setを替えるとLFEの信号が無くなる。
- Fixed　GPIアクションをオンまたはオフに設定するとトグルに戻る。
- Fixed　Reboot to factory のパッチの問題。

警告:*1.1.x*ファームウェアから以前の*1.0.x*ファームウェアにロールバックする必要がある倍、最初に*Firmware **1.0.20b43451*** にロールバックし、必要に応じてそこから古い*1.0.x*ファームウェアにロールバックしてください。

Firmware version 1.0.19b42352 *(Based on Maintenance Mode 16)*

警告:新しいファームウェアを更新すると、出力チャネル ディレイ値を再設定する必要があります。

- Fixed.　Anubis Source の音がボリューム値をアップデートするまで聞こえないことがある。
- Fixed.　DSD/DXD: 選択されていないSourceまたはMuteしたSourceの音が漏れて聞こえる。
- Fixed.　Presetエイコンの色が消しても変わらない。
- Fixed.　DXDでMonitorセットを変更した時に、小さなバーストノイズが起こる場合がある。
- Fixed.　Downmixが正しく行われない場合がある。
- Fixed.　サンプリング周波数を変更するとCueの音がミュートされる。
- Fixed.　Web Access:　SUMセレクションがトグルする。
- Fixed.　Web Access:　SUMのリモートコントロールでの問題。

Firmware version 1.0.18b41960 *(Based on Maintenance Mode 16)*

警告:新しいファームウェアを更新すると、出力チャネル ディレイ値を再設定する必要があります。

- New.　DSDサポート(DSD64,128,256)詳細はAnubis Userマニュアルを御覧ください DSDでの制限事項が書かれています
- New.　Direct DACボリューム コントロール パス
- New.　DSD時にAnubis PreAmpメータリングのスケールが+6dB SA-CDをサポートします
- New.　Anubis PreAmpのWebアクセスからのリモートコントロールが可能になりました
- Improvement.　Settings > General Combo-Box AD modeがDSDフォーマットサポートのために変更になりました
- Improvement.　PTPマスターへのロック時間短縮と信頼性が向上しました
- Improvement.　ADゲインのステップがなくなりました
- Improvement.　Monitor channel Trim(-12dB～0dB)が各Monitro Setに装備されました
- Fixed.　Web Access:Web AccessでのSource名変更がANEMANに反映されない問題が解決しました
- Fixed.　Web Access:間違ったピークワーニングがSourceページで検知される問題が解決しました
- Fixed.　Web Access:CueへのダウンミックスがWebから行えない問題が解決しました
- Fixed.　Web Access:PTPステータスがWebページでアップデートされない問題が解決しました
- Fixed.　Web Access:Source Trimの値が選択できない問題が解決しました
- Fixed.　Web Access:SUM選択の正確性の問題が解決しました
- Fixed.　HP/Cues モニター出力でディレイを加えた場合にサンプリング周波数を変更するとグリッチが起こる問題が解決しました

機能変更:
Settings>Audio Outputsページのチャンネル出力ごとのTrimがなくなりました。この機能はOutputペアのAttenuation機能に置き換えられました。Trim/channel はMonitorで行ってください。

Firmware version 1.0.13b41198 *(Based on Maintenance Mode 16)*

警告:新しいファームウェアを更新すると、出力チャネル ディレイ値を再設定する必要があります。

- New.　GPIOサポート
- Improvement.　Webアクセス:Presetサポート, Userマニュアル, Debugレポート, Source, Monitor名前変更が可能になりました
- Improvement.　TalkbackのスピーカーセットDIMオプション
- Improvement.　Talkが使用中にスピーカーセットをDIMするオプションが加わりました
- Improvement.　PTPスレーブ時のロックパフォーマンスが向上しました
- Improvement.　Downmixの色がMonitor Setの色と合うようになりました
- Fixed.　ランダムなバーストノイズが発生する問題が解決しました
- Fixed.　Webアクセス:Monitorを選択しなければSourceを選択できない問題が解決しました
- Fixed.　Speaker setが同じSpeakerを共有できる問題が解決しました
- Fixed.　Stream Listenerがミュートする問題が解決しました
- Fixed.　Talkのパッチが一度に行えない問題が解決しました
- Fixed.　Monitor Speaker setのタイプを変更すると選択が外れる問題が解決しました
- Fixed.　Speaker setを変更するとPolarityボタンが維持されない問題が解決しました
- Fixed.　Webアクセスを開くとSpeaker setの選択が外れる問題が解決しました
- Fixed.　MonitoringとSourceの設定で起こる問題が解決しました
  Note:SourceやMonitorを作成すると自動的に設定ページが開く仕様は取りやめました。

Firmware version 1.0.12b40720 *(Based on Maintenance Mode 16)*

警告:新しいファームウェアを更新すると、出力チャネル ディレイ値を再設定する必要があります。

- Improvements.　MIDI IO ステータス バー アイコンの動作
- Improvements.　MIDI - GPIO setting エントリーとGPIサポート
- Improvements.　フェードの短縮(mute, speaker set, Dim,...)
- Improvements.　Error log がHomeページに加わりました
- Improvements.　Error log レポート アイコンがステータスバーに加わりました
- Improvements.　Trimのレンジが-36dB~+12dBに広がりました
- Improvements.　空のPresetのオプションが追加されました
- Improvements.　ASIO Clock Settings が加わりました(On/Off/Auto)
- Improvements.　Trigger Settings にTalkbackモードが加わりました(No Latch, Latch., Auto)
- Improvements.　Speaker Set が選択時にクリックレスになりました
- Improvements.　Output Channels Delay 値のストア
- Fixed: Anubis起動時とロールオフ フィルターのモードを変更時に起こるグリッチを取り除きました
- Fixed: 出力チャンネルのポラリティを設定するときに起こる問題
- Fixed: Arubaスイッチからの着信ストリームの誤った処理
- Fixed: Auto-Patchの問題。終わりまで連続したチャンネルになりました
- Fixed: Reboot to factoryの問題
- Fixed: ボタンの割り当てを考慮しないプリセットの再読み込み
- Fixed: Downmixセレクターが各Speaker Setに保持されます
- Fixed: Anubis Premium のANEMANでの DXD overrun エラー
- Fixed: ユニキャストとマルチキャストを混在させた場合の誤ったストリームとパフォーマンスの問題
- Fixed: Monitor/Sourceのサイズと数を変更する際の不要な可聴トランジション

- Fixed: Dante AVIO AES67をPTPマスターにした場合の問題

Firmware version 1.0.9b40042 *(Based on Maintenance Mode 16)*

- New.　DXD サポート**
- New.　デフォルトの Factory 構成がアップデートされました。
- New.　Settings > Inputs の AD Split mode オプション
- New.　Webページのスキンが変更になりました。
- New.　Infoページの詳細が強化されました。
- New.　SingleとAuto-Patching機能が追加されました。
- Improvements.　ジッパーノイズが最適化されました（スムースになりました）。
- Improvements.　Monitor タイプ 1.1がサポートされました。
- Improvements.　Monitor Mission が概ね改善されました。
- Fixed.　Proと Premium の制限事項を修正しました。
- Fixed.　Multi-patch Outputをサポートしました。
- Fixed.　ページのスクロールの感度がこれまでより鈍くなるようにしました。
- Fixed.　ボリューム コントロールがTalkerに影響を与えなくなりました。
- Fixed.　DCオフセット除去器の積分時間はサンプリングレートに対して一定になりました。
- Fixed.　Talkbackコントロールを改善しました。
- Fixed.　出力Peak Meters がリセットできるようになりました。
- Fixed.　Settingsを抜けたときのメニュー表示のオーバーレイ。

*　*DXD*モードのとき、*ANEMAN*は初期化時に、*ANUBIS*がイーサネット *Overrun error*（オーバーラン エラー）を表示するかもしれません。このエラーをマニュアルで *Clear* してください。

Firmware version 1.0.9b39588 (Based on Maintenance Mode 16)

- 最初のエンドユーザー用Firmware

ANUBIS TROUBLESHOOTING

Firmwareのロールバック
以前のファームウェアバージョンに戻す必要があるユーザーは、旧Firmwareで上書きすることでそうすることができます。ただし、旧Firmwareは新しいASIOまたはVADドライバと互換性がない可能性があるため、Merging社はこの操作を実行しないことをお勧めします。また同様の理由で、ドライバも旧バージョンに戻す必要があります。

ANEMANで**Anubis maintenance mode** にアクセスできない場合
ANEMAN v1.1.7 build 39688 以上を使用していることをお確かめください。
警告：***RAVENNA Easy Connect*** は ***Anubis*** をサポートしていません。

RAVENNA ASIO Driver error:
ドライバーのバージョンが 12.0.1 以上であることを確かめてください。HorusやHapiを使用している場合、これらはfirmware 3.9.4 以上でなければなりません。

VAD macOS Driver error:
ドライバーのバージョンが 2.0.39648 以上であることを確かめてください。HorusやHapiを使用している場合、これらはfirmware 3.9.4 以上でなければなりません。

ANUBIS が起動しない：ANUBIS Ex-factory update reset の方法

Firmware が 1.4.0 以降の個体の場合

1. Firmware が 1.4.0 以降であることを確認してください。
2. ANUBISの電源を落としてください。
3. MUTE と TALK ボタンを同時に押してください。
4. 上記の状態で ANUBIS の電源を電源を入れ、ANUBIS が起動するまでボタンを押し続けてください。

以上で ANUBIS は 工場出荷時の状態にリセットされます。
それでも問題が解決しない場合は support@merging.com に問い合わせてください。

Firmware が 1.2.6 以前の個体の場合

1. Google Chrome を使って ANUBIS Maintenance Page を開いてください。
2. 下のリンクよりファイルをダウンロードして、ファームウェア アップデート時と同様に ANUBIS にアップロードしてください。
   ANUBIS factory Reset update：
https://betadownload.merging.com/ExternalLinks/Anubis/FactoryReset/ResetConfigToFactory.Anubis
3. アップデートが完了したら ANUBIS を再起動してください。

それでも問題が解決しない場合は support@merging.com に問い合わせてください。

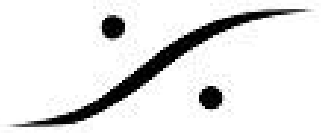
Firewall と ウイルス対策ソフト**:**
Windows ファイアウォール：
Windowsのファイアウォールは、Anubisとアプリケーション間のコミュニケーションをブロックする事ができます。そのため、パブリック側のファイアウォールをOffにすることを推奨します。

手順：

1. Windowsコントロールパネル > Windows ファイアウォール を開きます。
2. ”Windows ファイアウォールの有効化または無効化”を開きます。
3. ”パブリックネットワークの場所の設定”で、”Windowsファイアウォールを無効にする（推奨されません）”にチェックを入れてください。

ウイルス 対策ソフトについて:

*Merging*社ではウイルス対策ソフトを無効にすることを推奨しています。*Avast*や*Sophos*は*Anubis*のディスカバリーやネットワーク コネクションをブロックすることが分かっています。



MERGING + ANUBIS ONLINE DATABASE

https://confluence.merging.com/display/PUBLICDOC/MERGING+ANUBIS

MERGING + ANUBIS FAQ

https://merging.atlassian.net/wiki/spaces/PUBLICDOC/pages/4818526

MERGING + ANUBIS USE CASES

https://merging.atlassian.net/wiki/spaces/PUBLICDOC/pages/4818957